



取扱説明書

富士電機硬貨・紙幣釣銭機ECS-777

CSC777 (硬貨釣銭機)

CSB777 (紙幣釣銭機)

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

はじめに

この度は、富士電機硬貨・紙幣釣銭機 ECS-777 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分に理解してから本製品を使用してください。
取扱いを誤ると傷害および故障が発生する恐れがあります。
- 本製品は、POS レジまたはレジスターと連動し、国内流通の硬貨または紙幣を入出金する目的で設計されています。
これ以外の目的に無断で使用しないでください。
- 本製品を無断で改造および輸出することは固く禁止致します。
無断で改造・輸出したことにより生じた事故・損害については当社は一切責任を負いません。
- 本製品の仕様は製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 記載内容は設定により、異なる場合があるため、記載通りの動作をしない場合は、お買上先に連絡をお願いします。

注意

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

© 富士電機株式会社 2018

発行 2018-10

もくじ

	ページ
はじめに	1
1. 付属品	2
2. 安全上のご注意	3
3. 使用上のご注意	6
4. 各部の名称とはたらき	8
4.1 外観	8
4.2 硬貨釣銭機内部ユニット	9
4.3 紙幣釣銭機内部ユニット	9
5. 操作のしかた	10
5.1 操作パネル	10
5.2 モニタ表示部の見方	10
5.3 収納状態の表示	11
5.4 収納表示の意味と対応	11
5.5 在高の確認	12
5.6 精査	14
5.7 収納硬貨や紙幣の回収	16
5.8 両替（両替，逆両替）	18
5.9 動作履歴の確認方法	19
6. 設定	20
6.1 ブザー音量設定	20
6.2 LCD コントラスト設定	20
7. 清掃方法	21
7.1 硬貨釣銭機の清掃	21
7.2 紙幣釣銭機の清掃	24
8. こんなときには	25
8.1 エラーコードの見方	25
8.2 釣銭機の警告音	25
8.3 エラー解除手順	26
8.4 投入検銭部の開け方	27
8.5 紙幣部搬送路の開閉の仕方	28
8.6 一時保留紙幣の取り除き方	29
8.7 硬貨入金時の詰まり解除方法	30
8.8 硬貨出金時の詰まり解除方法	32
8.9 紙幣入金時の詰まり解除方法	35
8.10 紙幣出金時の詰まり解除方法	38
9. 仕様	41
10. 故障時の処置	42
11. 廃棄について	42
12. 製造年月	43

1. 付属品

1.1 硬貨釣銭機

- ・クリーニングクロス…………… 1 枚
- ・ピンセット…………… 1 本
- ・ブロアー…………… 1 個
- ・電源コード…………… 1 本
- ・ユニット鍵（青色）…………… 1 組
- ・取扱説明書…………… 1 冊
- ・簡易マニュアル…………… 1 冊

1.2 紙幣釣銭機

- ・硬貨－紙幣間電源ケーブル…………… 1 本
- ・硬貨－紙幣間通信ケーブル…………… 1 本
- ・紙幣回収庫扉鍵（黄色）…………… 1 組



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

2. 安全上のご注意

- この取扱説明書には、安全に関する重大な内容が記載されていますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

(1) 警告表示と意味

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度について、次の警告表示で説明しています。

警告表示	意 味
 警告	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合
 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の損害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合




(2) 図記号と意味

守っていただく内容について、次の図記号で説明しています。

図 記 号	意 味	図 記 号	意 味
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		分解禁止
			接触禁止
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。		電源プラグを抜く
	このような絵表示は、気をつけていただく「注意」内容です。		破裂注意
			指をはさまないように注意

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

	<ul style="list-style-type: none">● 転倒防止をする 設置者は必ず、転倒防止をしてください。 内部ユニットを引き出した時に、前倒・落下の恐れがあります。● 電源プラグは確実に差し込む 電源プラグはほこりが付いていないか確認し、がたつきがないように根元まで確実に差し込んでください。 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の恐れがあります。● 廃棄は専門業者に依頼する リチウム電池を内蔵していますので、廃棄は専門業者に依頼してください。 屋外での放置は、環境汚染や事故発生の恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 屋外で使用しない 本製品は屋内用に設計されています。 屋外での使用は、電氣的な安全を損ない、事故発生の恐れがあります。● 電源コードを引っぱってプラグを抜かない 必ずプラグを持って抜いてください。 断線して、発熱発火の恐れがあります。● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の恐れがあります。● 設置はご自分でしない 設置はお買い上げ先に依頼してください。 不完全な設置は、転倒事故・感電・火災の恐れがあります。● 修理はご自分でしない 修理はお買い上げ先に依頼してください。 修理に不備があると、感電・火災の恐れがあります。● 電源コードを破損したり加工しない 重いものを乗せたり、加工しないでください。 破損して、感電や火災の恐れがあります。● 正面パネルに手を掛けて運搬しない 運搬者は正面パネルに手を掛けて運搬しないでください。 落下や故障・破損の恐れがあります。● 装置によりかからない 内部ユニットを引き出した状態で、内部ユニットに荷重を加えないでください。 前倒・落下の恐れや、内部ユニットの変形による機能低下の可能性がります。● 水に浸かった電気部品は使用しない 災害などで製品が水に浸った場合は、電気部品と配線の交換を依頼してください。 交換しないと感電・火災の恐れがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● 部品交換する時は電源プラグを抜く 部品交換する時は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 感電の恐れがあります。● 緊急時は電源プラグを抜く 万が一、こげ臭いなどの異常時は、電源スイッチをOFFにしたあと電源プラグを抜き、お買い上げ先に連絡してください。 異常のまま使用していると感電・火災の恐れがあります。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告



- 分解・改造しない
分解・改造はしないでください。
事故発生の恐れがあります。

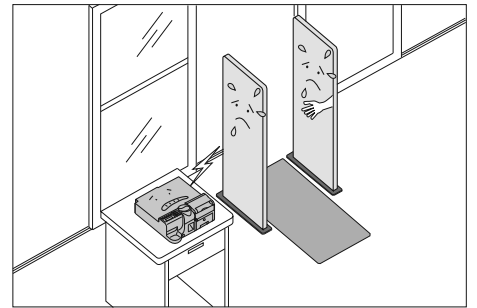


- 近くで可燃物を扱わない
シンナーなどの可燃物や可燃性ガス（エアダスターを含む）、揮発性の高い物を近くで使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。

注意



- 強い電磁波を発生する装置（防犯ゲートなど）の近くに設置しないでください。
強い電磁波は誤動作や故障の原因となります。
強い電磁波を発生する装置の近くに設置する必要がある場合は、本製品の機能に影響がないことを確認のうえ、設置してください。



- 以下に示す条件下で使用しない
 - ・ 直射日光が当たる場所
 - ・ 温度が 40℃より高くなる場所
 - ・ 温度が 5℃より低くなる場所
 - ・ 湿度が急激に変化する場所
 - ・ 湿度が 85%より高くなる場所
 - ・ 湿度が 30%より低くなる場所
 - ・ 換気の悪い場所
 - ・ ほこりの多い場所
 - ・ 強い電磁波を発生する装置の近く条件外での使用は、誤動作や故障の原因となり、また製品寿命を短くし、電気的な安全を損なう恐れがあります。
- 出金口に手を入れない
出金口に手を入れないでください。
けがをする恐れがあります。
- 電源スイッチが ON のまま電源プラグを差し込まない
電源スイッチが OFF になっていることを確認してから、電源プラグをコンセントへ差し込んでください。
投入口が動き、物が引き込まれる恐れがあります。
- 結露した状態で電源を入れない
寒い所から急に温かい所へ持ち込んだりすると、結露が生じます。しばらく放置して、結露がなくなってから電源を入れてください。
結露したままでのご使用は故障の原因になります。
- 手袋や包帯等をした手で硬貨や紙幣を投入しない
手袋や包帯等をした手で、硬貨や紙幣を投入しないでください。
巻き込まれてけがをする恐れがあります。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

3. 使用上のご注意

3.1 全体

- 装置の上に重いものを直接乗せると本体カバーが変形し、内部ユニットを引き出せなくなる恐れがあります。
- 緊急時を除いて、動作中に電源を切らないでください。
詰まりや在高が不正確になる原因となります。
- 釣銭の補充は、必ず硬貨または紙幣投入口から機械補充してください。
直接収納部へ入れないでください。
在高が合わなくなります。
- 硬貨または紙幣の回収は、故障時を除いて、スイッチ操作により機械回収してください。
直接収納部から抜き取らないでください。
在高が合わなくなります。

3.2 硬貨釣銭機 (CSC777)

- 硬貨投入口へ目安として 50 枚以上の硬貨を入れないでください。
詰まりや、硬貨紛失の原因になります。
- 包装硬貨で装置をたたくと正面パネル等が破損する恐れがあります。
- 包装硬貨は包装を取り除いてから硬貨投入口へ入れてください。
包装硬貨は取り込めません。
- 現行の国内発行 6 金種ではない硬貨（記念硬貨を含む）と古い 5 円貨（特に昭和 24 年～ 27 年製は直径が少し大きい）は投入しないでください。
詰まり・誤選別の原因になります。
- 変形・破損・摩耗した硬貨、水などで濡れた硬貨、粘着物がついた硬貨や硬貨でない異物（特にクリップ、ホッチキス針、虫ピン、紙片）は絶対に投入しないでください。
詰まり・誤選別・故障の原因になります。



変形



破損・磨耗



濡れ



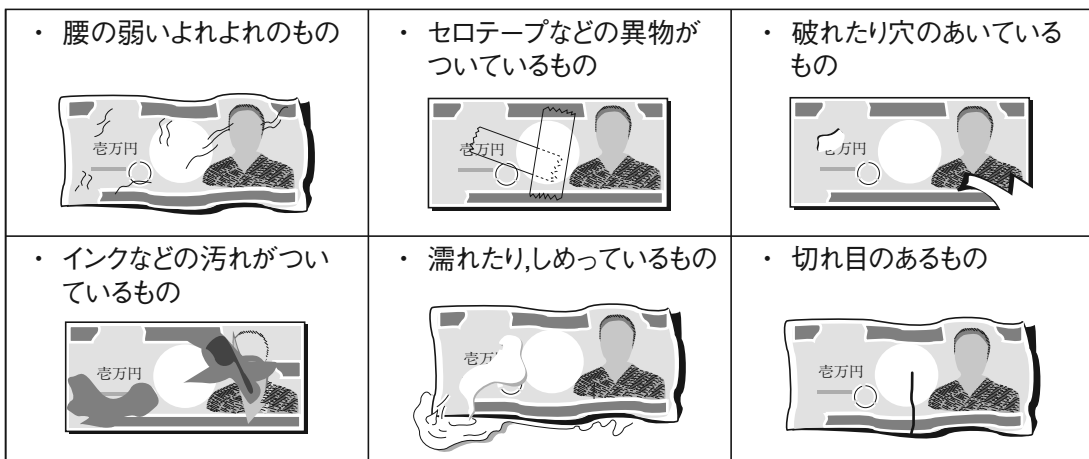
粘着

- 回収硬貨は一時停止前に出金口より取り出さないでください。
硬貨の飛び出しやエラー発生の原因になります。

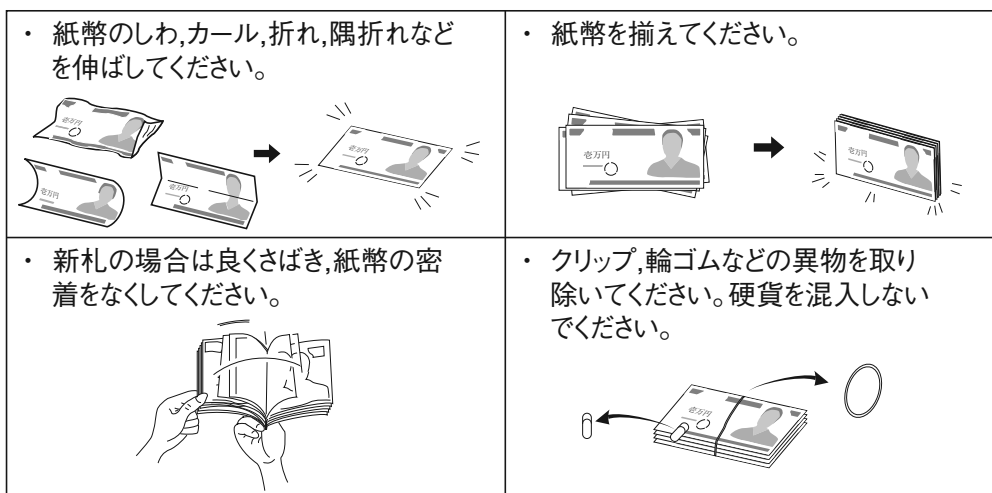
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

3.3 紙幣釣銭機 (CSB777)

- 紙幣投入口への投入枚数は、投入口に無理なく挿入できる枚数を目安としてください。(新札で 25 枚相当)。
- 現行の国内発行 4 金種ではない紙幣 (昭和 59 年以前の紙幣や商品券, 図書券などの金券) は投入しないでください。
詰まり・誤選別の原因になります。
- 回収庫の開閉は、電源が入っている状態で行ってください。また、その際には必ず紙幣を抜き取ってください。在高が合わなくなります。
- CSB777 は単品では動作しません。必ず CSC777 と一緒にお使いください。
- 次のような紙幣は、取込み不能や紙幣詰りの原因になりますので、この装置には、入れないでください。

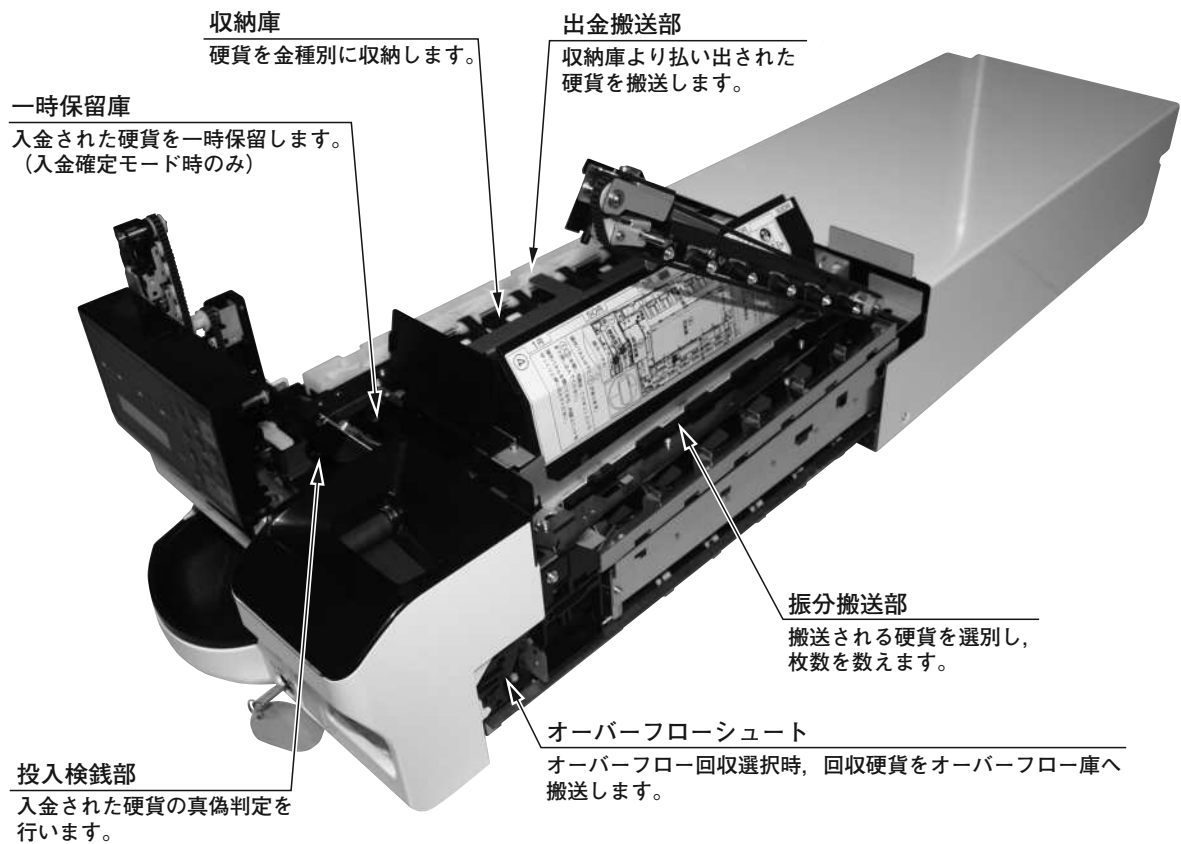


- トラブルを未然に防止するため、投入口に紙幣を入れるときは、次のことをお願いします。

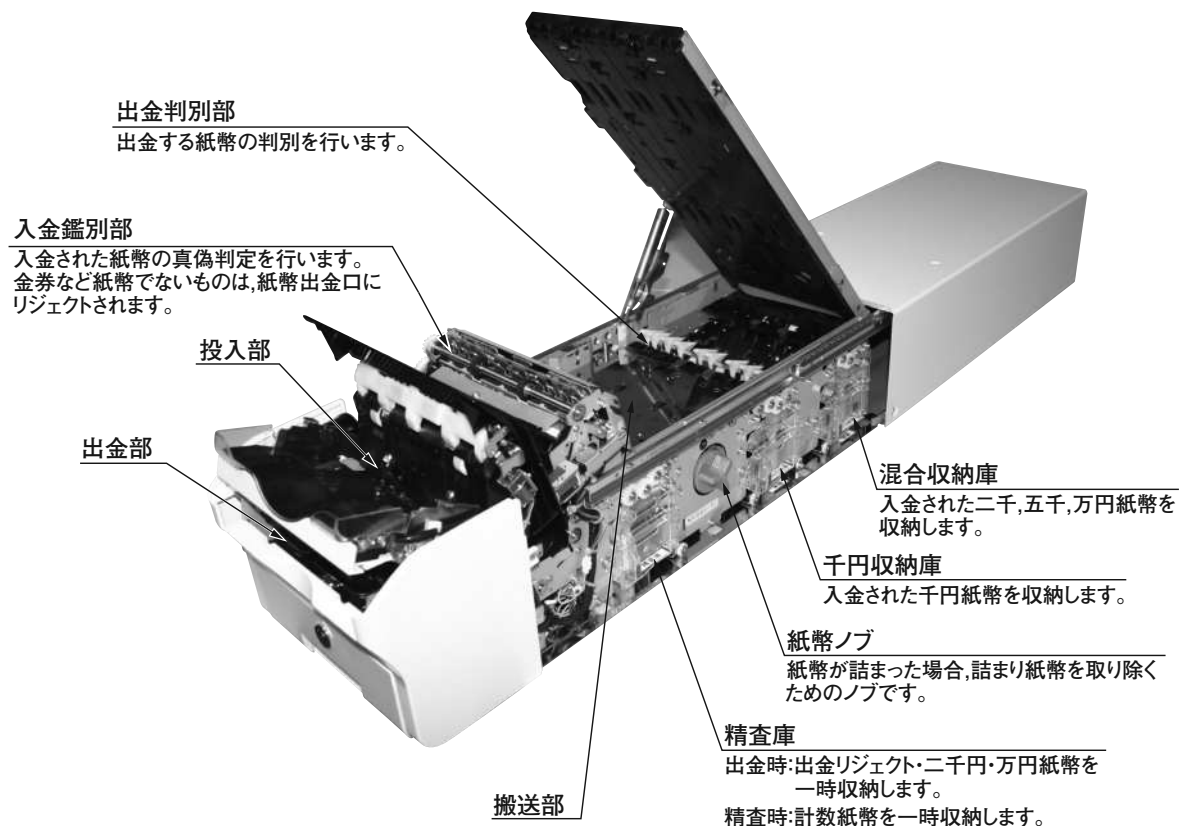


ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

4.2 硬貨釣銭機内部ユニット



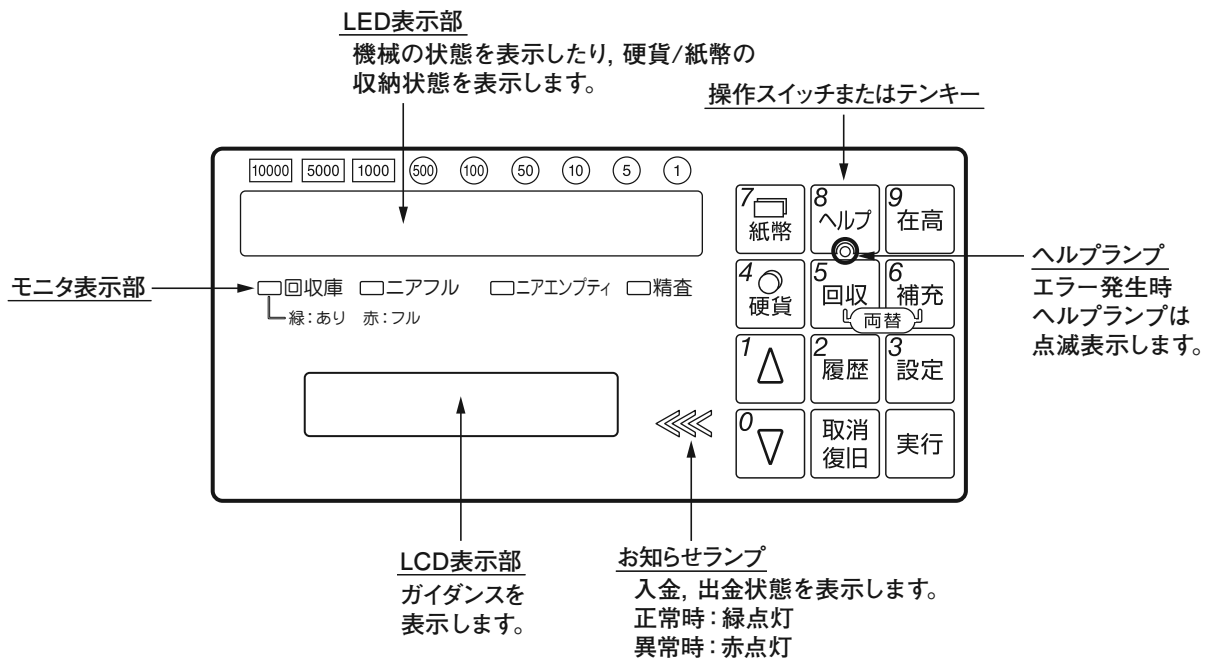
4.3 紙幣釣銭機内部ユニット



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

5. 操作のしかた

5.1 操作パネル



<操作スイッチ>

実行	機能を実行するとき 사용합니다。	4 硬貨	各操作を行うとき硬貨の項目へスキップさせるときに 사용합니다。
取消復旧	エラー解除のときなどに 사용합니다。	5 回収	収納されている硬貨／紙幣を回収するとき 사용합니다。
0 ▼	操作項目を選択するとき 사용합니다。	6 補充	釣銭機へ紙幣・硬貨を補充する時に 사용합니다。
1 ▲	操作項目を選択するとき 사용합니다。	7 紙幣	各操作を行うとき紙幣の項目へスキップさせるときに 사용합니다。
2 履歴	入出金、動作履歴を参照するとき 사용합니다。	8 ヘルプ	ヘルプランプ点滅時にアラーム内容とメッセージを表示させるとき 사용합니다。
3 設定	日時指定して履歴を調べる時などに 사용합니다。	9 在高	硬貨／紙幣の在高および精査を行う場合に 사용합니다。

5.2 モニタ表示部の見方

<input type="checkbox"/> 回収庫	緑色 : 回収庫に紙幣が入っています。 赤色 : 回収庫が満杯です。扉を開けて回収してください。
<input type="checkbox"/> ニアフル	赤色点灯: 満杯、もしくは満杯に近い状態になっている金種があります。在高を確認し、必要な金種を回収してください。
<input type="checkbox"/> ニアEMPTY	赤色点灯: いずれかの金種が不足しています。在高を確認し、必要な金種を補充してください。
<input type="checkbox"/> 精査	赤色点灯: 在高が合っていない可能性があります。精査を実行してください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

5.3 収納状態の表示

	エンプティ	ニアエンプティ*1)		適量 少	適量 中	適量 多	ニアフル*1)	フル	
	□ニアエンプティ 赤色点灯	□ニアエンプティ 赤色点灯	□ニアフル 赤色点灯						
	0	0~9	点減	-	=	=	点減	点減	
(1) (10) (100)	0	残数表示 (1~9)	10~20	21~50	51~110	111~150	151~169	170	
(5) (50)	0	残数表示 (1~9)	10	11~45	46~105	106~140	141~159	160	
(500)	0	残数表示 (1~9)	10	11~30	31~60	61~90	91~109	110	
(1000)	0	残数表示 (1~9)	10~20	21~60	61~110	111~220	221~249	250	
混合 収納 (5000) (10000)	0	残数表示 (1~9)	10~15	16~30	31~50	51~80	81~99 (5千・万計)	100 (5千・万計)	
カセット 紙幣全金種	□回収庫 消灯	□回収庫 緑色点灯					□回収庫 赤色点灯 200*2)		

*1) ニアフル、ニアエンプティ枚数は、RAS モードでの設定で変更することが可能です。 (枚)

変更する場合は、販売店にお問い合わせください。

*2) 紙幣の状態により、収納可能枚数が減少することがあります。

5.4 収納表示の意味と対応

表示	状態	対応
0 ~ 9	エンプティ / ニアエンプティ	表示された枚数しかありません。 急いで補充してください。
(点減)	ニアエンプティ	在高が少なくなっています。 できるだけ早めに補充してください。
- (点灯)	少なめですが正常に運用可能です。	
=	正常に運用可能です。	
=	多めですが正常に運用可能です。	
(点減)	ニアフル	あと少しで金庫が満杯になります。 できるだけ早く回収してください。
(点減) +ヘルプ点灯	フル	金庫が満杯になりました。 (投入した貨幣が出金口に戻ります) 回収をしてください。

5.5 在高の確認

(1) 総金額・収納庫金額

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ② **9** 在高スイッチを押してください。
総金額を表示します。
*) 総金額は、硬貨・紙幣の収納庫の金額と回収庫の金額を加算した金額となります。

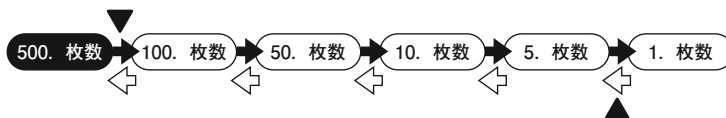


- ③ **0** 下スイッチを押してください。
回収庫を除いた、収納庫のみの金額（出金可能な金額）を表示します。



(2) 硬貨の在高

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ② **9** 在高スイッチを押してください。
- ③ **4** 硬貨スイッチを押してください。
- ④ **0** 下/上スイッチを押すごとに下記の順番で在高（枚）を表示します。

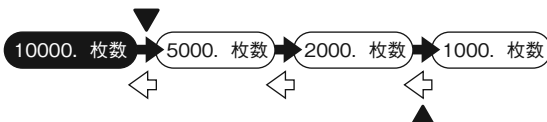


例：500円硬貨の在高を表示したとき



(3) 紙幣の在高

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ② **9** 在高スイッチを押してください。
- ③ **7** 紙幣スイッチを押してください。
- ④ **0** 下/上スイッチを押すごとに下記の順番で在高（枚）を表示します。







例：10000円紙幣の在高を表示したとき



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

(4) 回収庫の在高

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ②  スイッチを押してください。
- ③  スイッチを押してください。
- ④   スイッチを押すごとに下記の順番で在高（枚）を表示します。

C10000. 枚数 ← C5000. 枚数 ← C2000. 枚数 ← C1000. 枚数

例：回収庫の10000円紙幣の在高を表示したとき



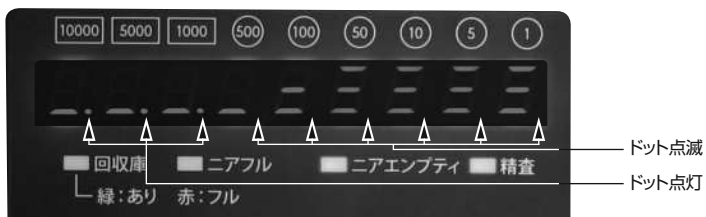
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

5.6 精査

精査とは！

精査とは、収納庫内の現金を再計数する処理です。それに伴ない釣銭に不適當な硬貨 / 紙幣（判読不能硬貨 / 紙幣）は排出されます。

下記表示のようにドットが点灯している時および 精査 が点灯している時は、在高が合っていない可能性がありますので、精査を行ってください。



紙幣 (ドット点灯)	在高が合わない可能性があります。紙幣の精査を実施してください。
硬貨 (ドット点滅)	在高が合わない可能性があります。硬貨の精査を実施してください。



注意

精査は満杯時には3回以上連続して行わない様にしてください。
(モータ等の駆動部に負荷がかかるため)

(1) 紙幣・硬貨同時精査

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ② 在高 スイッチを押してください。
- ③ スイッチを SCrEEn 表示になるまで押してください。

- ④ 実行 スイッチを押すと SCrEEn 表示が点滅し精査を開始します。




概略の動作時間（精査時間）を表示します。

精査終了後、待機状態になります。


- ⑤ リジェクト硬貨や紙幣は、出金口に排出されます。
排出された硬貨や紙幣はドロアへ収納してください。






(2) 硬貨のみ精査

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ② スイッチを押してください。
- ③ スイッチを押してください。
- ④ スイッチを Cn.SCrEEEn 表示になるまで押してください。




- ⑤ スイッチを押すと Cn.SCrEEEn 表示が点滅し精査を開始します。
概略の動作時間（精査時間）を表示します。
精査終了後、待機状態になります。

(3) 紙幣のみ精査

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ② スイッチを押してください。
- ③ スイッチを押してください。
- ④ スイッチを bL.SCrEEEn 表示になるまで押してください。



- ⑤ スイッチを押すと bL.SCrEEEn 表示が点滅し精査を開始します。
概略の動作時間（精査時間）を表示します。
精査終了後、待機状態になります。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

5.7 収納硬貨や紙幣の回収



注意



- 硬貨や紙幣回収中に、出金口に手を入れないでください。詰まりや、破損、けがの原因になります。




回収の種類

硬貨・紙幣一括回収	収納庫内の硬貨、紙幣と回収庫の紙幣を全て回収します。
硬貨一括回収	収納庫内の硬貨を全て回収します。
硬貨指定回収	硬貨の金種を指定して回収します。
指定硬貨設定枚数回収	硬貨の金種を指定して、設定した回収枚数で回収します。
硬貨金種別回収	硬貨を金種毎に回収します。
紙幣一括回収	収納庫内の紙幣と回収庫の紙幣を全て回収します。
紙幣指定回収	紙幣の金種を指定して回収します。
指定紙幣設定枚数回収	紙幣の金種を指定して、設定した回収枚数で回収します。
紙幣金種別回収	紙幣を金種毎に回収します。
フル回収	収納枚数がニアフル以上ある場合に、一部枚数を残して回収します。
金額残置回収（紙幣のみ）	設定された金額分を残して紙幣回収します。
枚数残置回収	設定された各金種の枚数分を残して回収します。
オーバーフロー回収	収納枚数が規定枚数以上ある場合に、上位制御部（POS等）からの指令により指定枚数を回収します。


(1) オーバーフロー回収を使用する時

- ① 上位制御部（POS等）より回収先を選択してください。
＊）回収先は、出金口、またはオーバーフロー庫のどちらかが選択可能です。
- ② 上位制御部（POS等）からの指令により硬貨の回収を開始します。

(2) 硬貨や紙幣を一括で回収する時

- ① ユニット鍵を〈管理〉の位置に合わせてください。
- ②  回収スイッチを押してください。
- ③  スイッチを押して、表示を ALL に合わせてください。
- ④  スイッチを押してください。硬貨や紙幣の回収を開始します。

回収動作を中止する場合

-  スイッチを押してください。



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ⑤ 硬貨の回収は、硬貨出金口またはオーバーフロー庫に搬送されます。
搬送先は設定によりります。

出金口に回収される場合

指定枚数が出金口に回収されます。

指定枚数が60枚以上の場合、約60枚回収すると自動停止します。(お知らせランプが緑点灯します)

出金口に出てきた硬貨を取り除くと、自動的に次の回収が開始されます

オーバーフロー庫に回収される場合

釣銭機下のオーバーフロー庫に回収されます。

注) オーバーフロー庫への回収時は、必ず釣銭機下にオーバーフロー庫が設置されていることを確認してください。



- ⑥ 紙幣の回収は、回収庫または出金口に搬送されます。
搬送先は設定によりります。

回収庫に回収される場合

約220枚回収するか、収納庫が空になると自動停止します。

「CASEt」と表示されたら回収庫扉を開けて紙幣を抜き取ってください。

回収庫の紙幣を抜くと次の回収が開始されます。

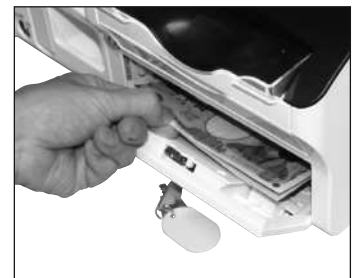
別売の回収庫が準備されている場合は、交換して回収することができます。

出金口に回収される場合

20枚回収するか収納庫が空になると自動停止します。(お知らせランプが緑点灯します)

出金口に出てきた紙幣を取り除くと、自動的に次の回収が開始されます。

- ⑦ 紙幣の回収で回収中にリジェクトが発生した場合は、最後にリジェクト紙幣を回収します。
⑧ 回収が終了すると、回収された金額が表示されます。



5.8 両替（両替・逆両替）

(1) 両替モードの入り方

- ① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。
- ② **5** 回収スイッチと **6** 補充スイッチを同時に2秒以上押してください。両替モードになります。



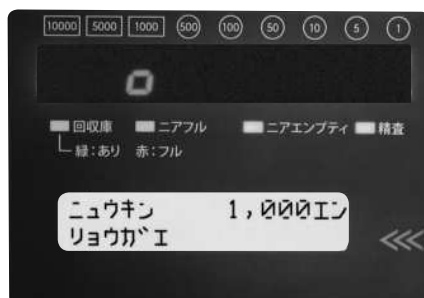
(2) 両替

- ① **7** ▲スイッチを押してください。
- ② 両替する硬貨または紙幣を1枚投入してください。※ 1

金種変換された紙幣または硬貨を出金します。
両替したい金種が十分入っていることを確認してください。

- ※ 1 両替は1枚の金種投入にて実行します（出荷時設定）。
複数枚の同時両替の設定も可能です。
必要な場合は販売先にご連絡ください。

例：1000円紙幣を500円硬貨と百円硬貨に両替する場合

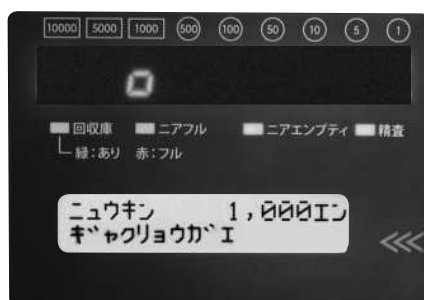


(3) 逆両替

- ① **0** ▼スイッチを押してください。
- ② 逆両替する硬貨または紙幣を投入してください。
- ③ **実行** スイッチを押してください。

金種変換された紙幣または硬貨を出金します。

例：500円硬貨2枚を1000円紙幣に逆両替する場合



(4) 両替モードの抜け方

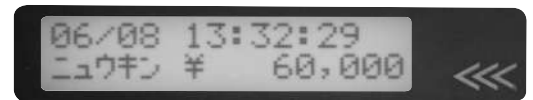
- ① **取消復旧** スイッチを押してください。

5.9 動作履歴の確認方法

(1) 通常の履歴参照

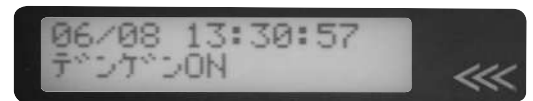
入出金等の動作履歴を表示部で確認することができます。

① ユニット鍵が〈運用〉の位置になっていることを確認してください。



② スイッチを押してください。
入金履歴、動作履歴が表示されます。

③ スイッチを押すごとに過去の履歴が表示されます。



スイッチを押すごとに新しい履歴を表示します。

このとき スイッチを押すと、動作履歴は中止されます。

(2) 日付を指定した履歴参照

① ユニット鍵を〈運用〉の位置に合わせてください。

② スイッチを押してください。

③ スイッチを押してください。

④ 月日時を入力してください。

⑤ スイッチを押してください。
入力した月日時の履歴が表示されます。



または スイッチを押すと別の履歴を表示します。

またこのとき スイッチを押すと、動作履歴は中止されます。

(3) エラーコードのみを参照する場合

① ユニット鍵を〈保守〉の位置に回してください。

② スイッチを押してください。
エラーコードを表示します。



または スイッチを押すと別のエラーコード履歴を表示します。

またこのとき スイッチを押すと、動作履歴は中止されます。

6. 設定

6.1 ブザー音量設定

- ① ユニット鍵を〈管理〉の位置に合わせてください。
- ② **設定** スイッチを押してください。
- ③ **実行** スイッチで音量を選択してください。

音量の設定順序

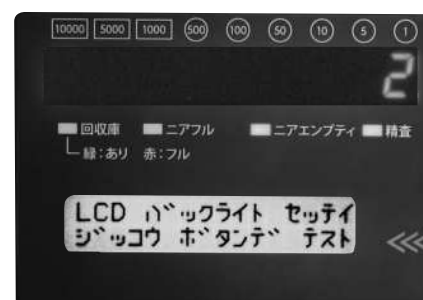
4(大)→0(無音)→1(極小)

↑ 3(中) ← 2(小) ←



6.2 LCD コントラスト設定

- ① ユニット鍵を〈管理〉の位置に合わせてください。
- ② **設定** スイッチを押してください。
- ③ **実行** スイッチで「LCD コントラストセッテイ」表示になるまで押してください。
- ④ **実行** スイッチでLCD コントラストを調整してください。調整は0～4の5段階です。



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

7. 清掃方法



警告



製品の清掃を実施するにあたり、下記にご注意ください。

- (1) 可燃物（シンナー、アルコール等）を含むクリーナ類を使用しないでください。
- (2) 可燃性ガス（DME、HFC-052a等）を含むダストスプレー類を使用しないでください。

上記の清掃ツールを使用しますと、装置からの発熱、スイッチ等からの火花、静電気により爆発、火災が発生する場合があります。

変形・変色の原因になります。

センサに汚れがつくと誤動作の原因になります。

装置清掃の際には、装置添付の清掃道具を使用していただきますようお願いいたします。



注意

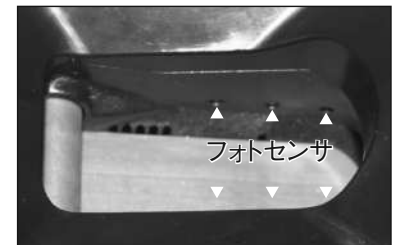
清掃をするときは、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
自動取込機能によってベルトが動きだし、けがをする恐れがあります。

7.1 硬貨釣銭機の清掃

センサの清掃は、1週間に1回行ってください。

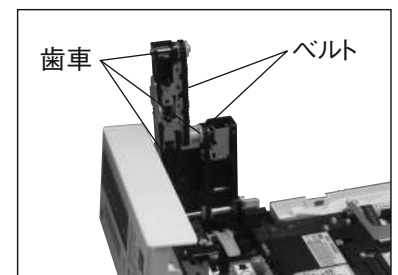
(1) 硬貨投入口

- ① 投入口には、フォトセンサが6カ所ついています。
- ② クリーニングクロスで乾拭きして、ほこりなどを除去してください。



(2) 投入検銭部

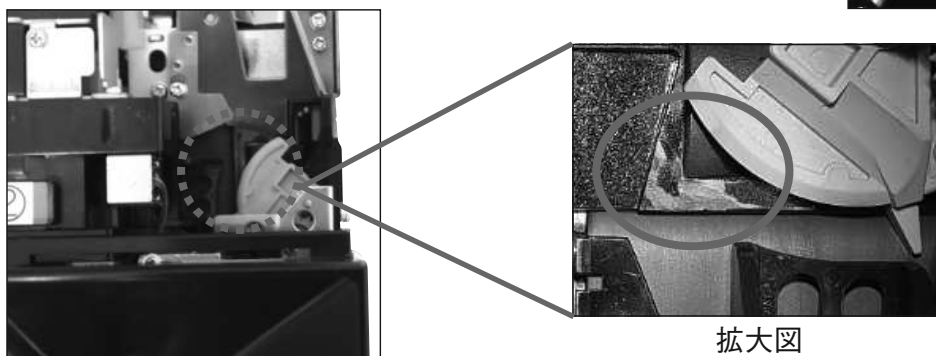
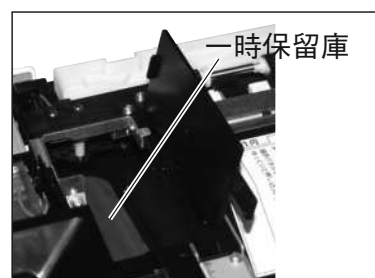
- ① 検銭部搬送路のベルトや歯車に異物が付着していたら取り除いてください。
- ② 検銭部は、開いて貼り付いた異物（粘着性）等をクリーニングクロスで清掃してください。



ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

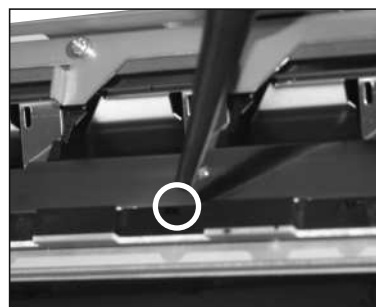
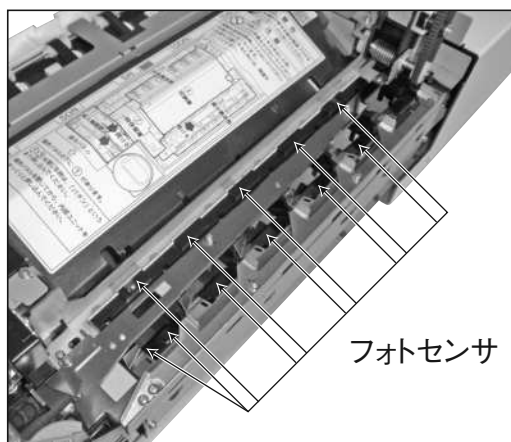
(3) 一時保留庫

- ① 一時保留庫内のホコリを取り除きます。
- ② 一時保留庫出口が汚れていましたら（丸内）、クリーニングクロスで拭きとってください。



(4) 振分部

- ① 振分部には、フォトセンサが12カ所ついています。
- ② ブロアーでほこりなどを除去してください。
ブロアーをセンサ面の穴（白丸）に3回程度、吹きつけてください。



拡大図

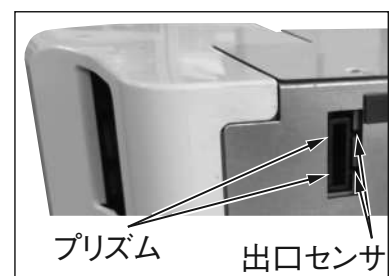
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

(5) オーバーフローシュート

- ① 硬貨キャンセル口の角穴奥に計数センサが2カ所あります。
ブロアーでほこりなどを除去してください。
ブロアーを角穴奥に3回程度、吹きつけてください。



- ② 底面のオーバーフローシュート出口に出口センサとプリズムが各2カ所あります。
ブロアーでほこりなどを除去してください。
ブロアーを穴に3回程度、吹きつけてください。

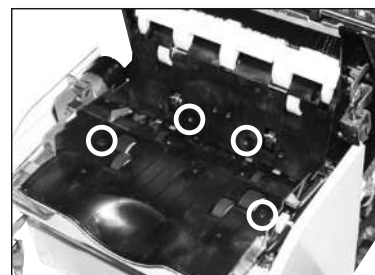


7.2 紙幣釣銭機の清掃

センサの清掃は、1週間に1回行ってください。

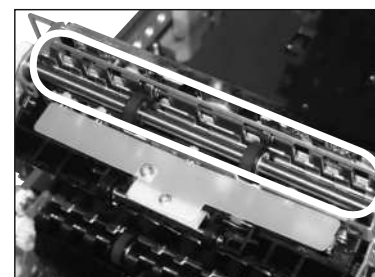
(1) 紙幣投入センサ

- ① 投入口を開いて、ブロアーでフォトセンサ（4ヵ所）（白丸）のほこりを除去してください。



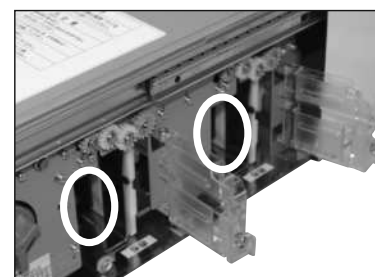
(2) 入金鑑別部センサ

- ① 入金鑑別部を開けて、ブロアーでフォトセンサのほこりなどを除去してください。



(3) 収納庫センサ

- ① 収納庫の扉を開けて、プッシュの表面（白丸）のほこりなどをクリーニングクロスで清掃してください。

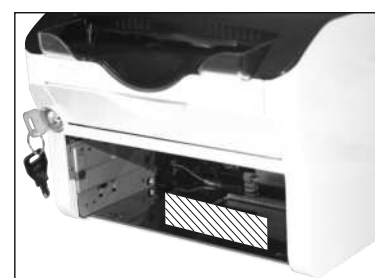


また、ブロアーでフォトセンサ（白丸）のほこりを除去してください。



(4) 回収庫センサ

- ① 回収庫を取り外した全面をクリーニングクロスでほこりなどを除去してください。




ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

8. こんなときは

8.1 エラーコードの見方

エラーガイダンス



エラー内容
異常発生時の動作モード

部位コード	部位
C t L.	コントローラ部
C n.	硬貨部
b L.	紙幣部

動作モードコード	動作モード
3	入金 (釣銭先行モード時)
4	入金
7	出金

※動作モードコード「3」「4」「7」以外の場合は販売店にお問い合わせください。

8.2 釣銭機の警告音

(1) ピー——という連続音

旧紙幣・旧硬貨がリジェクトされた	出金口から取り除き、現行貨幣と交換して取引します 取引後、ドロアに保管します
記念硬貨がリジェクトされた	出金口から取り除き、現行硬貨と交換して取引します 取引後、ドロアに保管します
外国硬貨やメダルがリジェクトされた	出金口から取り除き、お客様に返却して交換してもらいます
金庫が満杯になり、入りきらなかった紙幣・硬貨が排出された	取引中の入金時であれば、一旦入金キャンセルして取引を保留し、フルになっている貨幣を回収してから取引を続行します
入金した紙幣の間にレシート等が挟まっておりリジェクトされた	出金口から取り除き、必要があればお客様に返却します
入金した現金取引をキャンセルした場合、その取引で入金した貨幣は、紙幣出金口、硬貨キャンセル口に返却した	お客様に返却します
硬貨入金時のエラー解除の後、先に入金した硬貨がキャンセル口に返却された	エラー解除後、再度投入口に投入します

(2) ピーッ、ピーッ、ピーッという断続音

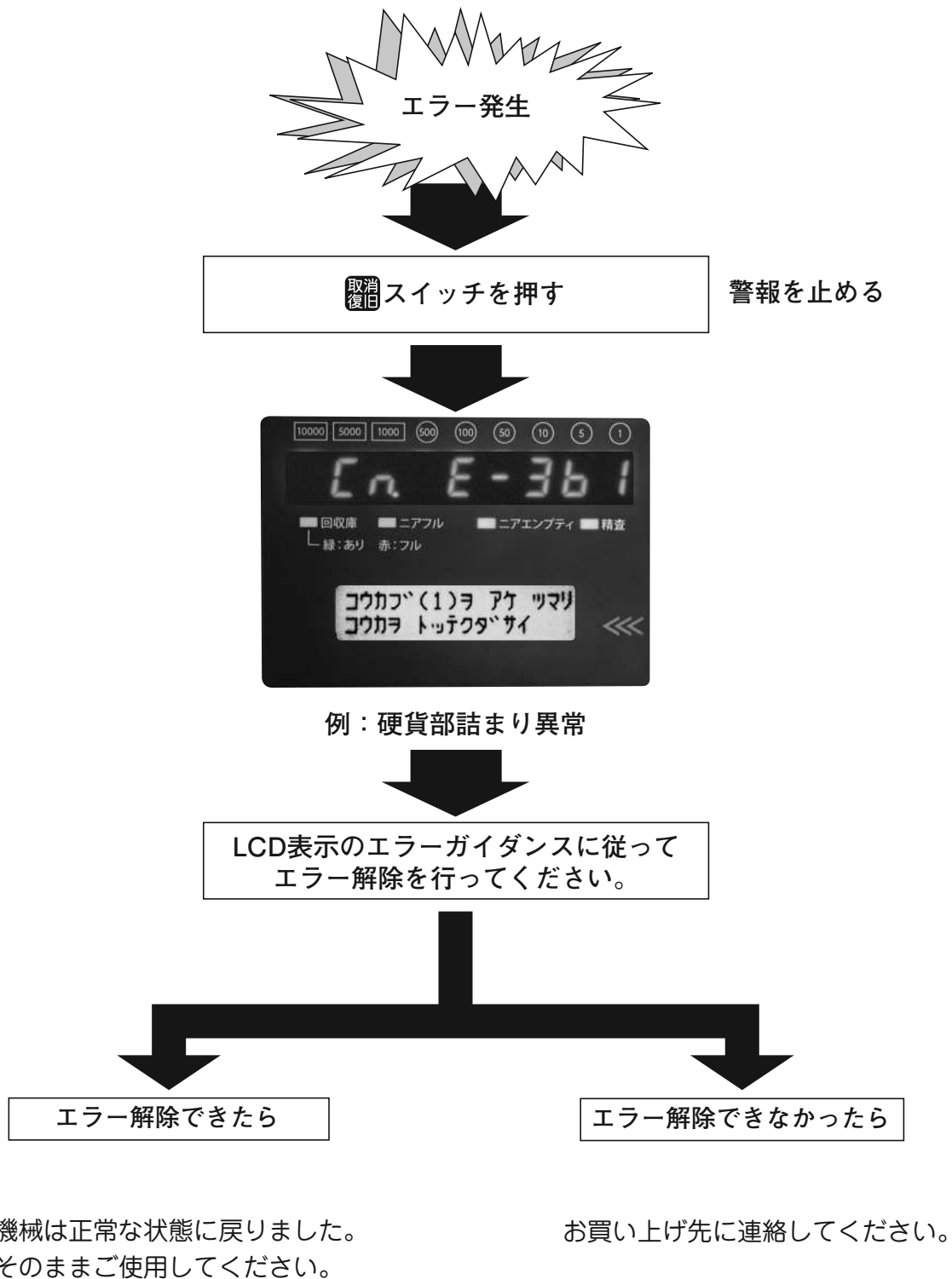
出金口(紙幣 or 硬貨)にお釣りが排出されて、8秒以内に取らなかった	出金口にある紙幣・硬貨を取り除いてください
キャンセル口に返却された硬貨を8秒以内に取らなかった	硬貨キャンセル口にある硬貨を取り除いてください

(3) ピピピピピピピという連続音

釣銭機内部で詰まりが発生した	取消／復旧ボタンを押して音を止めます LED表示部のエラーコードおよび、液晶表示部のエラー解除 ガイダンスを参考にエラー解除の上、リセットします
----------------	--

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

8.3 エラー解除手順

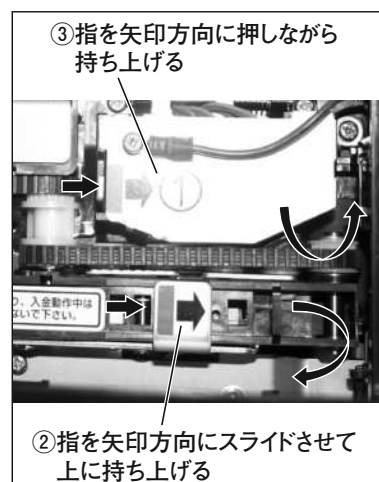


8.4 投入検銭部の開け方

- ① 操作パネルを奥から手前に開きます。
操作パネル下に硬貨検銭部があります。
(鍵操作無しで開けられます)



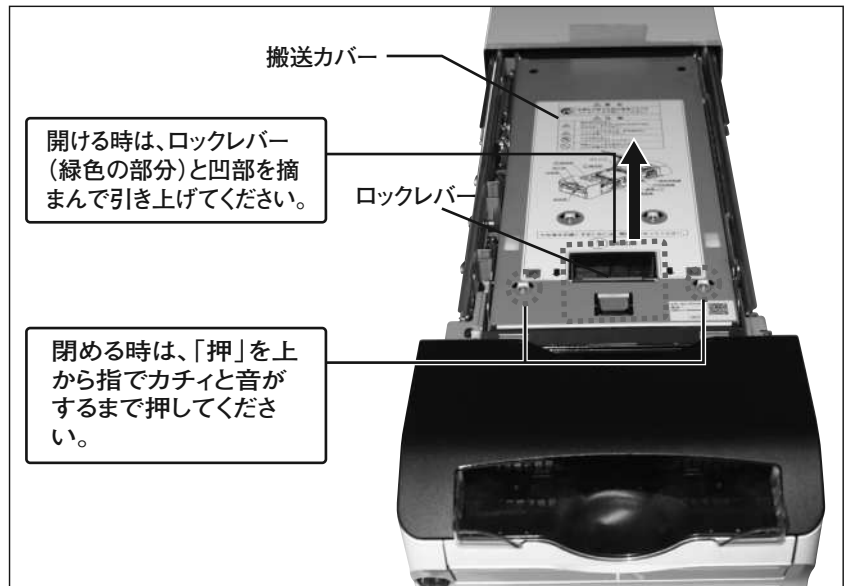
- ② 投入検銭部のロックレバーをスライドさせて搬送路を上へ持ち上げてください。
- ③ 「検銭部①」を開いてください。



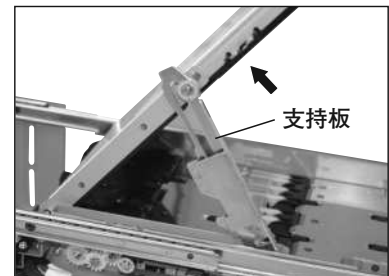
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

8.5 紙幣部搬送路の開閉の仕方

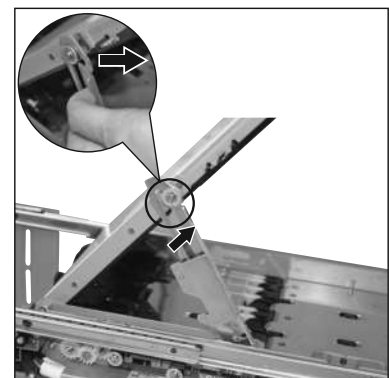
- ① 鍵を〈保守〉の位置にして紙幣ユニットを引き出し、搬送部カバーのロックレバー①を摘み上へ持ち上げてください。



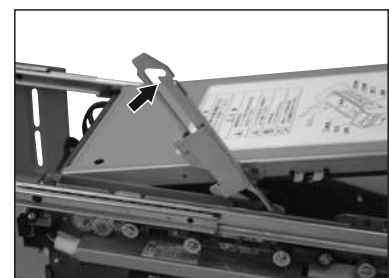
- ② 搬送部カバーを上まで持ち上げると、支持板で固定され開いた状態を保持します。



- ③ 閉める場合は、支持板を後ろから押しながら搬送部カバーを少し持ち上げるとロックが外れますので、支持板を押しながら下へ下ろしてください。



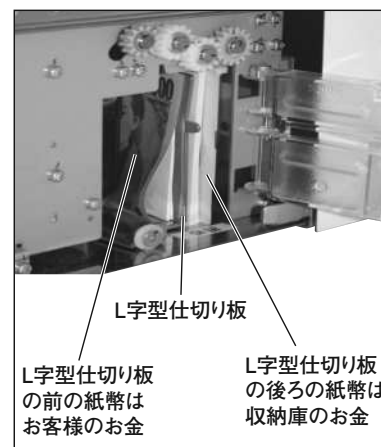
- ④ 途中で再度ロックが掛かりましたら、③と同じ方法でロックを解除して、搬送部カバーを閉じてください。



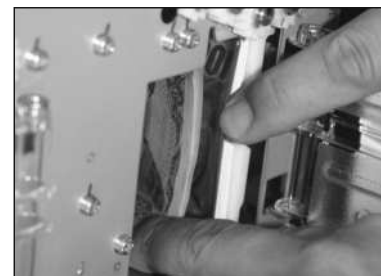
8.6 一時保留紙幣の取り除き方

- ① 入金時、計数の終わった紙幣は収納庫（千円庫、または混合庫）に入りますが、収納庫のお金とはL字型の仕切り板で区切られ、お客様のお金（一時保留紙幣）と収納庫のお金（収納紙幣）に区別されます。

入金時紙幣詰まりが発生した場合は、一時保留紙幣も取り除く必要があります。



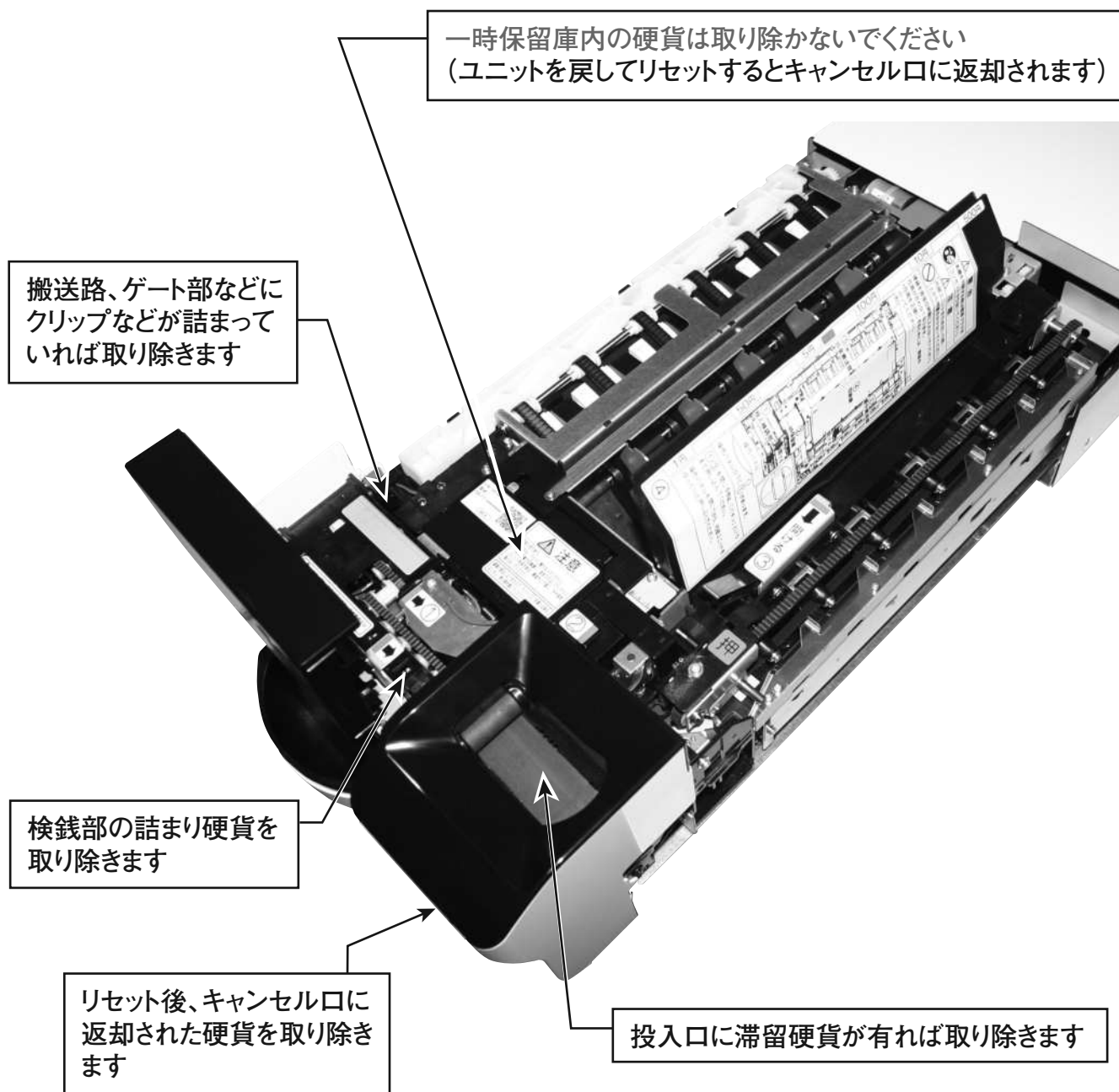
- ② 一時保留紙幣を引き抜くときは、L字型仕切り板を抑えて紙幣を引き抜いてください。なお、誤って収納庫のお金を引き出さないようにしてください。在高が合わなくなります。



- ③ 上記処理後は、必ず精査の実施をお願いします。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

8.7 硬貨入金・補充時の詰まり解除方法



- ① 詰まり発生時、「ピピピピピ」と連続音が鳴ります。
操作パネルの「取消／復旧」スイッチを押して、連続音を止めてください。
- ② LED表示部のエラーコード、またはLCD表示部のガイダンスを見て、紙幣部、硬貨部の
どちらでエラーが発生したか確認します。
尚、硬貨部の詰まりの場合は、
エラーコード「Cn. E-000」が表示されます。
- ③ 紙幣も同時に投入されている場合は、紙幣出金口に紙幣が戻ります。
取り除いてPOSのテーブルに置いてください。

(1) エラーコード「C n. E-0b0」が表示された場合

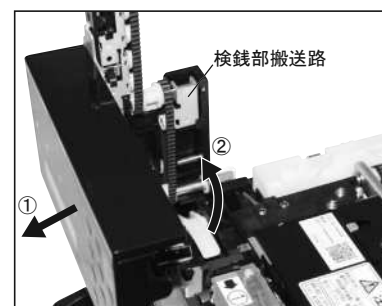
- ① 硬貨投入口に入れた硬貨が滞留しています。
- ② 滞留している硬貨を取り除いてPOSのテーブルに置いてください。



(2) エラーコード「C n. E-0b1」が表示された場合

検銭部で硬貨詰まりです。

- ① 操作パネル①を手前に持ち上げます。
検銭部搬送路のレバーを矢印方向に押し、上に開きます。
検銭部②を矢印方向に押し、上に開きます。(P26 参照)
詰まっている硬貨を取り除いてください。
- ② 取り除いた硬貨は釣銭機で使用しないでください。
詰まりの原因になります。
- ③ 検銭部を戻し、操作パネルを閉じて、「取消／復旧」スイッチを押して釣銭機をリセットしてください。



(3) リセット後にエラーコード「C n. E-264」が表示された場合

検銭部が正しくセットされていませんので、検銭部を確認してください。

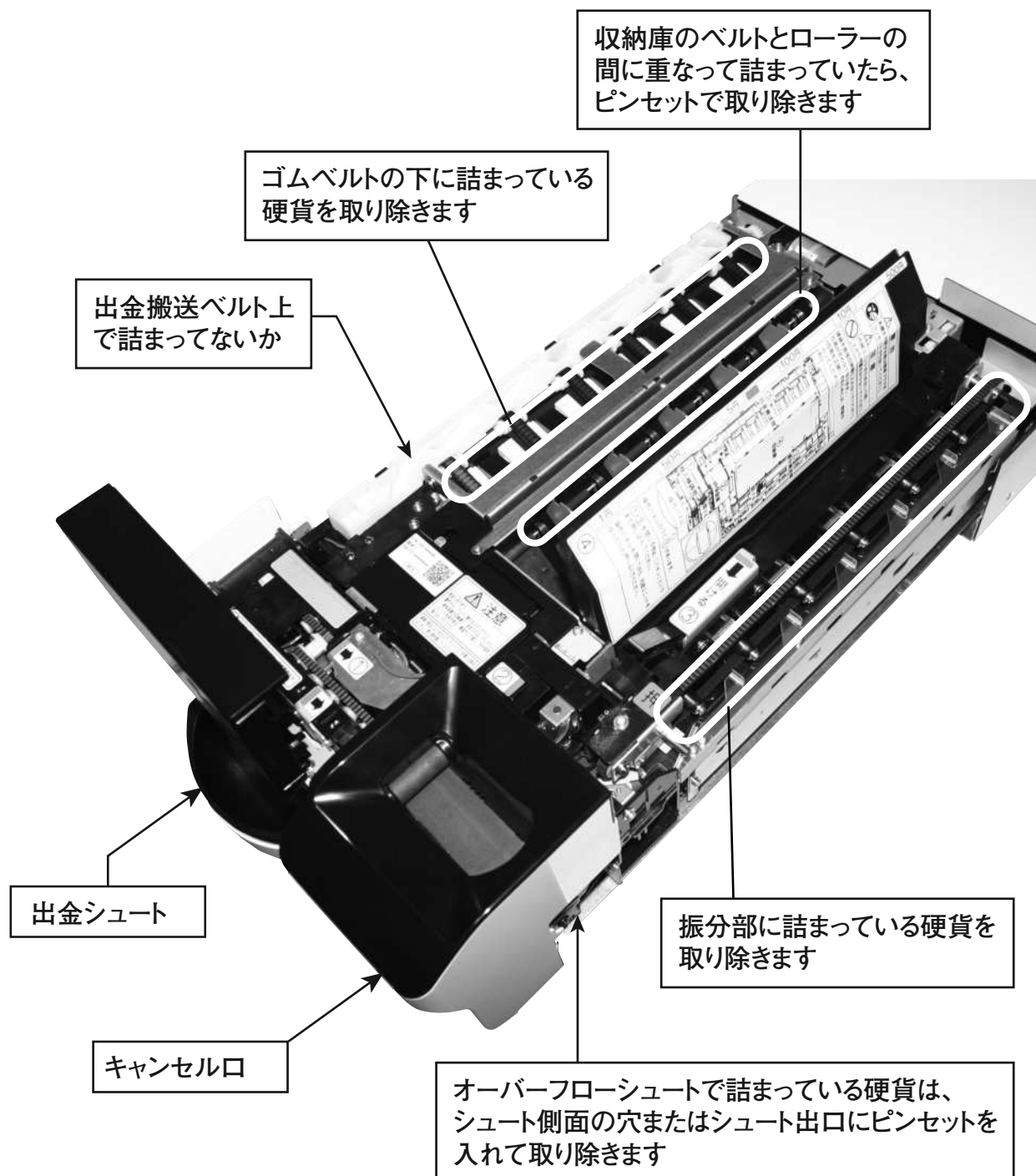
先に投入した硬貨がある場合は、硬貨キャンセル口に返却されます。

釣銭機のリセットが完了しましたら、お客様からお預かりした金額を手打ちして取引を完了させます。

取り除いた紙幣・硬貨はドロアで保管し後で分かるように管理してください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

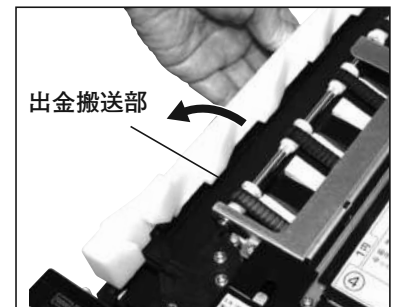
8.8 硬貨出金・回収時の詰まり解除方法



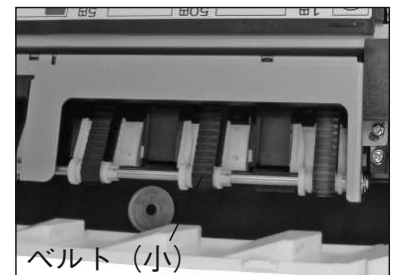
- ① 詰まり発生時、「ピピピピピ」と連続音が鳴り、お知らせランプが赤色点灯します。操作パネルの「取消／復旧」スイッチを押して、連続音を止めてください。
- ② LED表示部のエラーコード、またはLCD表示部のガイダンスを見て、紙幣部、硬貨部のどちらでエラーが発生したか確認します。

(1) エラーコード「C n. E-○○○」が表示された場合

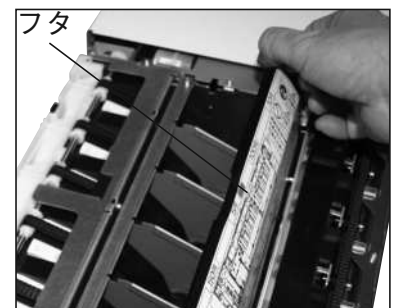
- ① お釣りの金額が千円以上の場合は、紙幣は正常に出金口から出ていますので、金額に間違いのないことを確認してください。
不足している硬貨は、ドロアからお客様へお渡し願います。
- ② 硬貨ユニットを引き出します。
注) オーバーフロー庫使用時は、硬貨ユニットを引き出す前に、オーバーフローシュート出口に硬貨が詰まっていないことを確認してください。
ユニット鍵を硬貨ユニット錠に差し込み、保守（右）側に回しますと硬貨ユニットは引き出せます。
- ③ 硬貨ユニット左側の出金搬送部のフタを開き、詰まっている硬貨を取り除きます。



- ④ 各金種ごとのベルトに硬貨が詰まっている場合は、ベルト（小）を手で回して取り除きます。



- ⑤ 収納庫のフタを開いて、収納庫内のローラーに硬貨が二枚重なって詰まっている場合は、付属のピンセットで詰まりを解除してください。
取り除いた硬貨は、各金種の収納庫へ戻してください。



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ⑥ 出金口の奥にある出金シュートに硬貨が詰まっている場合は、詰まりを解除してください。

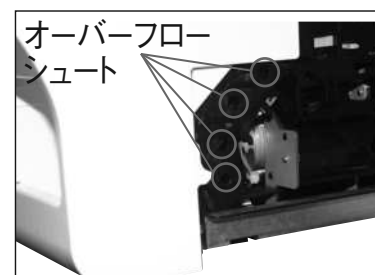


- ⑦ 底面のオーバーフローシュート出口で詰まっている場合は、釣銭機底面よりピンセットで詰まりを解除してください。



オーバーフローシュート出口

- ⑧ オーバーフローシュートで硬貨が詰まっている場合は側面の4カ所の穴より、ピンセットで詰まりを解除してください。



オーバーフローシュート

- ⑨ 硬貨部を戻し、「取消／復旧」スイッチを押して釣銭機のリセットを行ってください。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

8.9 紙幣入金・補充時の詰まり解除方法

収納庫へ入りかけて止まっている紙幣を取り除きます。頭だけ出ている手で引き抜けない場合は、ローラーを指で手前に回すと出てきます。半分位出てきたところで手で引き抜いてください

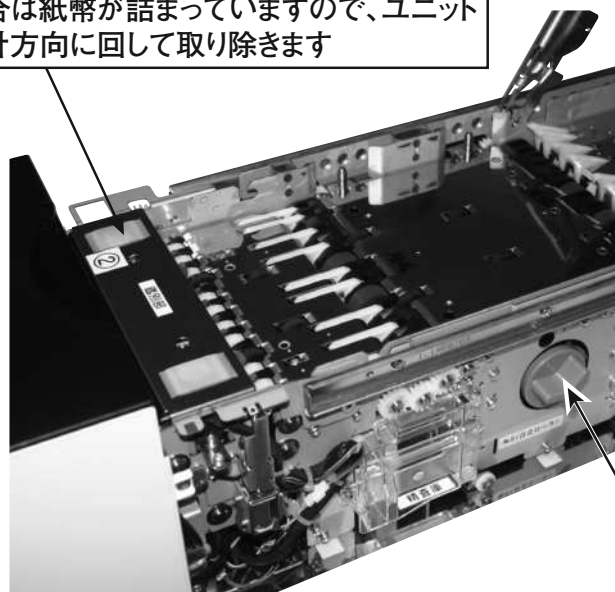
入金口の滞留紙幣を取り除きます

搬送路にある紙幣を取り除きます

出金口のリジェクト紙幣を取り除きます

千円庫、混合庫の2つの金庫の蓋を空け、L字型の仕切りの内側に一時保留紙幣が有る場合、収納庫側(L字の背中側)の紙幣が一緒に出てきてしまわない様、もう一方の手で押さえながら引き抜いてください

鑑別部が持ち上がらない場合は紙幣が詰まっていますので、ユニット横に有る緑色のレバーを時計方向に回して取り除きます

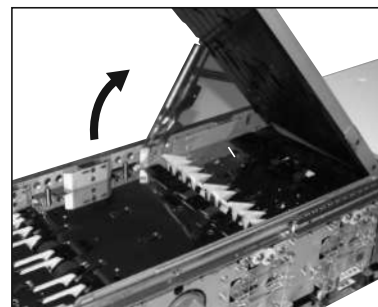


紙幣ノブ

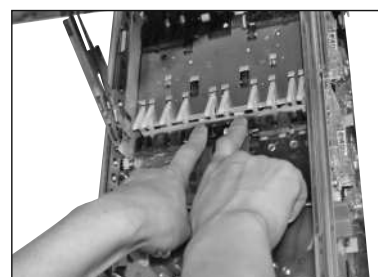
- ① 詰まり発生時、「ピピピピピ」と連続音が鳴り、お知らせランプが赤色点灯します。操作パネルの「取消／復旧」スイッチを押して、連続音を止めてください。
- ② LED表示部のエラーコード、またはLCD表示部のガイダンスを見て、紙幣部、硬貨部のどちらでエラーが発生したか確認します。

(1) エラーコード「b L. E-○○○」が表示された場合

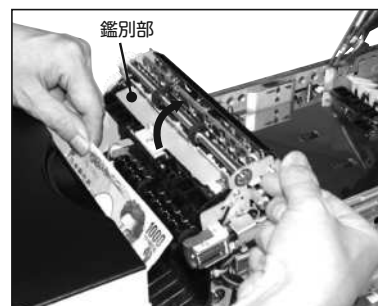
- ① 硬貨も同時に投入されている場合は、硬貨キャンセル口に硬貨が戻ります。
取り除いてPOSのテーブルに置いてください。
- ② 紙幣ユニットを引き出します。
ユニット鍵を紙幣ユニット錠に差し込み、保守（右）側に回しますと紙幣ユニットが引き出せます。
- ③ 「搬送部①」の緑色のラッチと凹部を摘まみ上に持ち上げ、搬送路に詰まっている紙幣を取り除きます。（搬送路の開閉はP28参照）



- ④ 収納庫出入口のゲート部分に紙幣が挟まっている場合は、指でフィードローラを手前に回して紙幣を取り除きます。



- ⑤ 鑑別部を手前から奥に開きます。
開かない場合は、紙幣が挟まっていますので、ユニット右側面の緑色のノブを時計方向に回して搬送路側へ紙幣を出して、取り除いてください。



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ⑥ 入金口を開いて紙幣が挟まっていないか確認してください。
紙幣が挟まっていたら取り除いてください。



- ⑦ 先に投入された紙幣が出金口に返却されている場合がありますので、必ず出金口も開いて確認してください。



- ⑧ 紙幣ユニット右側面の千円庫と混合庫の扉を開いて一時保留紙幣（L字仕切り板の前側の紙幣）がありましたら取り除いてください。

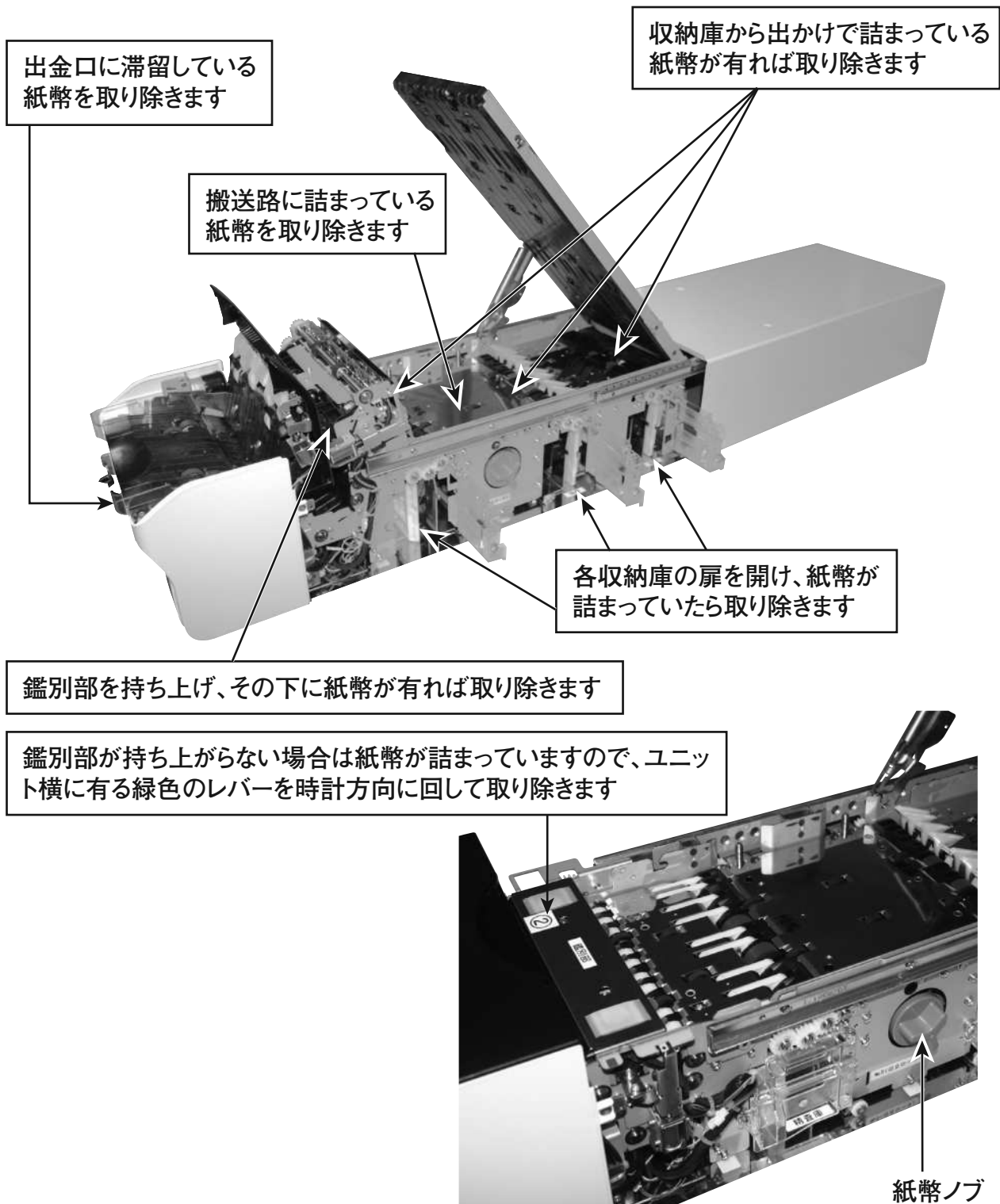
注）収納庫紙幣（L字仕切り板の後ろ側の紙幣）は引き出さないでください。



- ⑨ 紙幣部を戻して、操作パネルの「取消／復旧」スイッチを押して釣銭機をリセットしてください。
- ⑩ 釣銭機のリセットが完了しましたら、お客様からお預かりした金額を手打ちして取引を完了させます。
紙幣・硬貨はドロアで保管して後でわかるように管理してください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

8.10 紙幣出金・回収時の詰まり解除方法

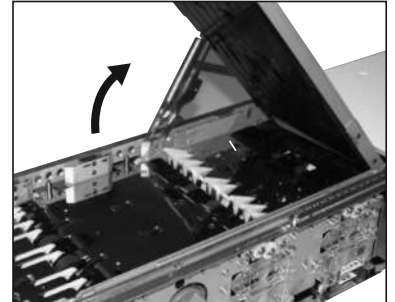


- ① 詰まり発生時、「ピピピピピ」と連続音が鳴り、お知らせランプが赤色点灯します。操作パネルの「取消／復旧」スイッチを押して、連続音を止めてください。
- ② LED表示部のエラーコード、またはLCD表示部のガイダンスを見て、紙幣部、硬貨部のどちらでエラーが発生したか確認します。

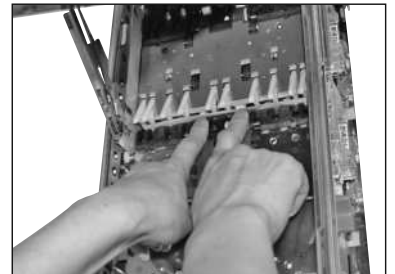
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

(1) エラーコードは「b L. E-○○○」が表示された場合

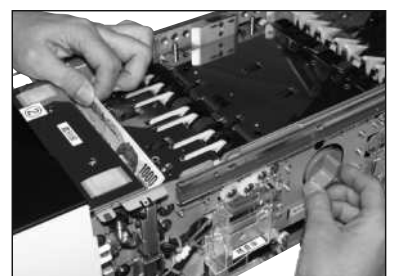
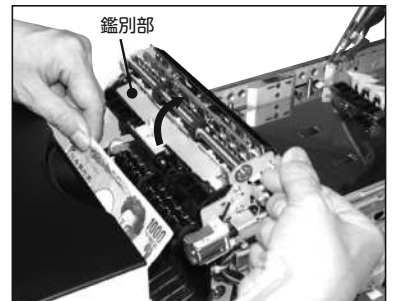
- ① 紙幣部で詰まりが発生した場合でも、硬貨は硬貨出金口に出金されますので、金額を確認してください。
不足している紙幣はドドアより出してお客様へお渡しします。
- ② 紙幣ユニットを引き出します。
ユニット鍵を紙幣ユニット錠に差し込み、保守（右）側に回しますと紙幣ユニットが引き出せます。
- ③ 「搬送部①」の緑色のラッチと凹部を摘まみ上に持ち上げ、搬送路に詰まっている紙幣を取り除きます。（搬送路の開閉はP28参照）



- ④ 収納庫の各ゲート部分に紙幣が挟まっている場合は、指でローラを手前に回して紙幣を取り除きます。



- ⑤ 鑑別部を手前から奥に開きます。
開かない場合は、紙幣が挟まっていますので、ユニット右側面の緑色のノブを時計方向に回して搬送路側へ紙幣を出して、取り除いてください。



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ⑥ 出金口を開いて紙幣が挟まっていないか確認してください。
紙幣が挟まっていたら取り除いてください。



- ⑦ 紙幣部を戻して、操作パネルの「取消／復旧」スイッチを押して釣銭機をリセットしてください。
再度エラーが表示されましたら、他に詰まっている紙幣があります。
再度紙幣ユニットを開いて確認してください。
- ⑧ 取り除いた紙幣はドドアへ保管して、後で分かるように管理してください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

9. 仕様

9.1 硬貨釣銭機 (CSC777)

取扱金種	国内発行硬貨 6 金種	
循環金種	国内発行硬貨 6 金種	
投入方法	混合一括投入	
投入口容量	最大 50 枚	
取込速度	約 6 枚/秒	
自動取込機能	あり	
収納庫容量	1 円	約 170 枚
	10 円	
	100 円	
	5 円	約 160 枚
	50 円	約 110 枚
500 円		
投出方式	混合一括	
出金口容量	60 枚	
出金速度	約 3 秒 (999 円払出し時)	
使用電源	AC100V 50Hz/60Hz	
消費電力 (CSC777 単体)	待機時 約 15W ・ 動作時 約 50W ・ 省エネ時 約 4W	
消費電力 (CSB777 接続時)	待機時 約 20W ・ 動作時 約 140W ・ 省エネ時 約 6W	
質量	約 16 kg	
外形寸法	270 (幅) × 600 (奥行) × 130 (高さ) mm	

9.2 紙幣釣銭機 (CSB777)

取扱金種	国内発行紙幣 4 金種	
循環金種	国内発行紙幣 4 金種	
投入方法	混合一括方式	
投入口容量	25 枚 ^{*1)} (官封券)	
取込速度	約 4 枚/秒	
自動取込機能	あり	
収納庫容量	千円	約 250 枚
	二千元	3 金種合計：約 100 枚
	五千元	
	一万元	
投出方式	一括放出	
出金口容量	20 枚	
出金速度	約 3 秒 (9000 円払出し時)	
回収庫容量	約 220 枚 ^{*2)}	
質量	約 19 kg	
外形寸法	220 (幅) × 600 (奥行) × 130 (高さ) mm	

* 1) 投入口容量は、紙幣の状態により減少する場合があります。

* 2) 回収庫容量は、紙幣の状態により収納可能枚数が減少する場合があります。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

10. 故障時の処理

10.1 保証とアフターサービス

- 必ずお買い上げ先と保証及びアフターサービスについて、契約を結んでください。

10.2 修理を依頼される時は



警告



異常が復旧しない時は、必ず電源スイッチをOFFにしたあと、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ先に連絡してください。

- ご連絡していただきたい内容

- ① 住所
 - ② 店舗名
 - ③ 担当者名
 - ④ 型式
 - ⑤ 製造番号
 - ⑥ 購入年月日
 - ⑦ 故障内容（できるだけ詳しく）
- エラーコードは必ずご連絡ください。

11. 廃棄について



警告



- 本製品はリチウム電池を内蔵していますので、廃棄の際は産業廃棄物として、専門業者に依頼するか、お買い上げ先にご相談ください。
- リチウム電池の取り外しは、必ず熟練者が行ってください。素人が取り扱おうと事故発生の恐れがあります。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

12. 製造年月

本製品の製造年月は、内部ユニットを引き出した上部に表示してあります。

硬貨釣銭機



S/N: 18X-*****N
型式：
CSC777-*****



***-*

機番(製造年月)の見方

2018年 10月製造の場合

18 X-○○○○○N

シリアルNo

製造月

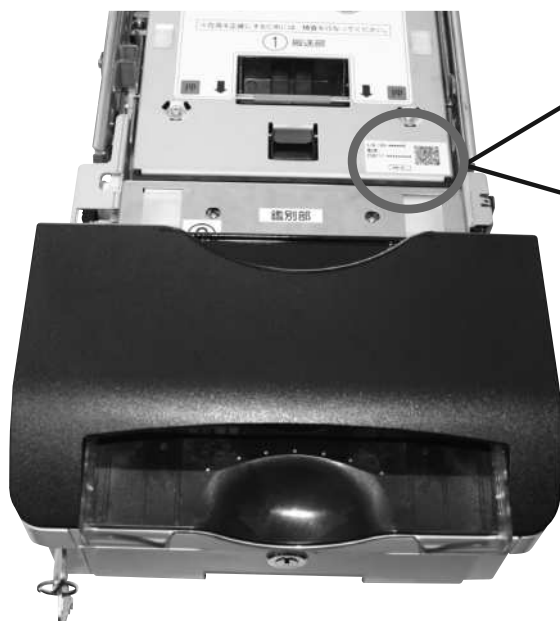
但し X : 10月

Y : 11月

Z : 12月

製造年

紙幣釣銭機



S/N: 18X-*****N
型式：
CSB777-*****



***-*

富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
(ゲートシティ大崎イーストタワー)
